

金沢SDGsミライ対話

第2部

一緒に考えてみよう！
2030年に向けて私たちのできること

第2部のキーワードは、「アクション」！

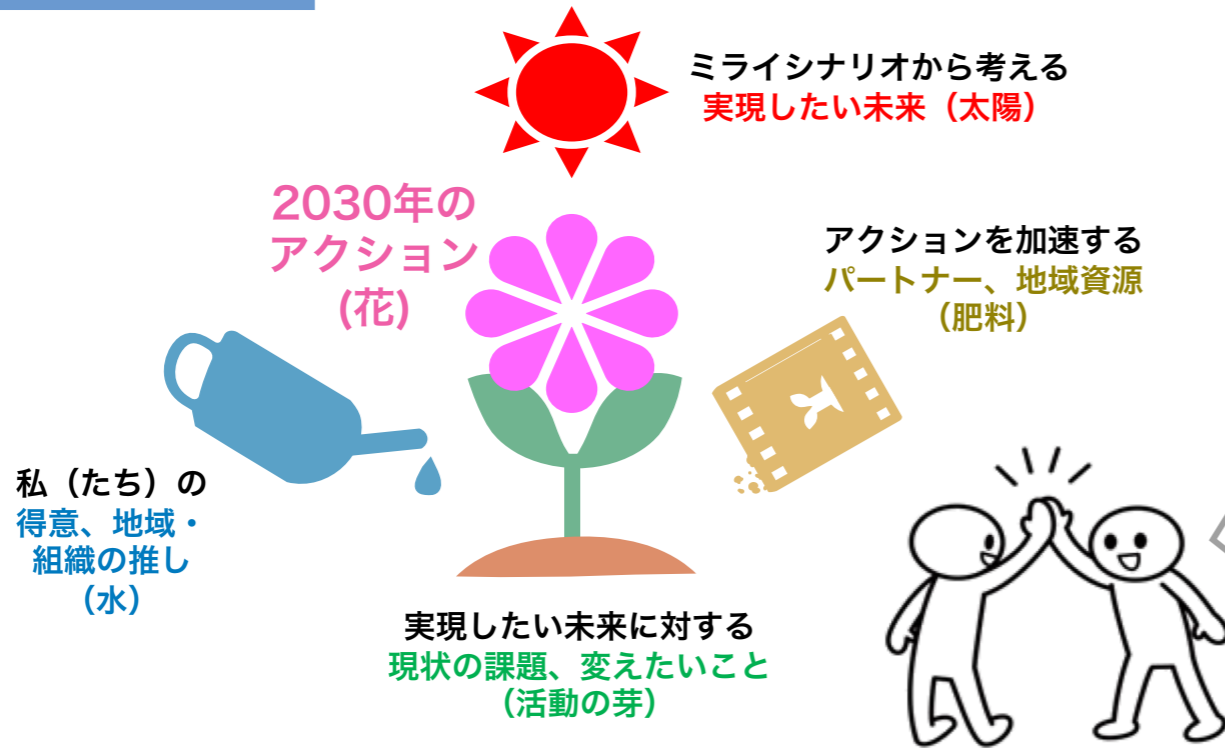
私の「こうなってほしい」と思う未来に向けて、

自分達の強みや地域にあるものを活かせば、

どんなアクションができるか、話し合きましょう！

第2部

対話で実現したいこと



実現したい未来(太陽)に向かって、

- ・ 現状の課題、変えたいこと (芽)
- ・ 私たちの持っているもの (水)
- ・ 協力者・パートナー (肥料)

を持ち寄り、育てて、

「2030へのアクション」(花)を咲かせる。

そのプロセスが対話になりました！

シート、カード、ふせんを使って、思いを持ち寄り、
私たちならではの新しいアクションを考えてみませんか？

金沢SDGsミライ対話

一緒に考えよう！ 2030年に向けて私たちができること

1. ミライシナリオを使って「2030年に実現したい未来」を考えよう。
2. 「実現したい未来」に対して金沢の現状を考えた時、「課題、変えたい」と思うことは何だろうか？
3. 私(もしくは私の地域・組織)の「得意、推したいこと」は何だろうか？
4. 「実現したい未来」へ、「課題」×「私(たち)の得意」から、私(たち)がチャレンジしたい「2030年へのアクション」は？
5. アクションを加速させるため、「連携したい人・組織、活用したい地域資源」は？

2030年に実現したい未来 (金沢ミライシナリオより)

2030年へ！ 私たちのSDGsアクション

連携したい人・組織、活用したい地域資源 (アクションを加速させる肥料)

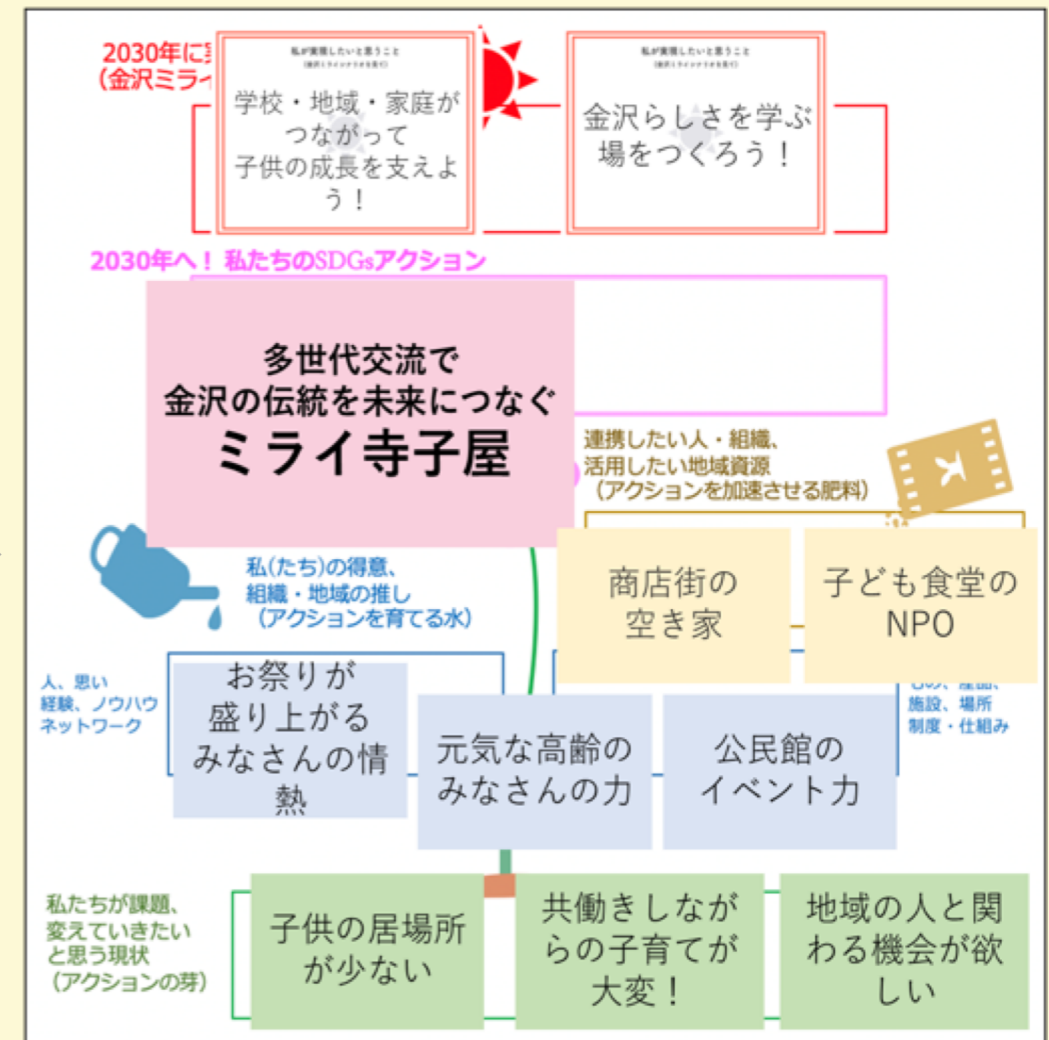
私(たち)の得意、組織・地域の推し (アクションを育てる水)

人、思い、経験、ノウハウネットワーク

私たちが課題、変えていきたいと思う現状 (アクションの芽)

私が実現したいと思うこと (課題・現状を振り返り)

第2部の
対話



第2部

全体の流れ

導入

STEP1
実現したい
未来を選ぶ

STEP2
未来に向けた
アクションを
つくる

STEP3
アクションの
実現可能性を
高めるには？

クロージング

第2部イントロ動画、趣旨説明

アイスブレイク 第1部対話の感想・気づいたこと

カードで考える

ミライシナリオから「**実現したい未来**」を選び、各自ミライカードに書き込む

対話 各自が選んだ「**実現したい未来**」を紹介し、グループで考えたいテーマを決める。

シート(ふせん)に書く

未来に対する「**変えたい課題・現状**」「**私たちの得意・資源**」を各自カードに書き出す

対話 まちにある課題と使えるものはなんだろう？
(ふせんに書いた内容を共有する)

対話 未来、課題、あるものの組み合わせから
私たちが実行したいアクションを考える

シート(ふせん)に書く

グループでアクションの名前を考え、
カードに書いて真ん中に書き出す

カードで考える

アクションの実現が捗るために「**連携したい人・制度**」を書き出す

対話 アクションの実現可能性を高めるためには？

ふりかえり 生まれたアクションをふりかえり、今後、
どのように進めたいか話し合う
対話をふりかえる

第3部に向けての説明

第2部ワークシート 該当箇所

金沢SDGsミライ対話 第2部

一緒に考えよう！ 2030年に向けて私たちのできること

1. ミライシナリオを使って、「2030年に実現したい未来」を考えよう。
2. 「実現したい未来」に対して金沢の現状を考えた時、「課題、変えていきたい」と思うことは何だろうか？
3. 私（もしくは私の地域・組織）の「得意、推したいこと」は何だろうか？
4. 「実現したい未来」へ、「課題」×「私（たち）の強み」から、私（たち）がチャレンジしたい 「2030年へのアクション」は？
5. アクションを加速させるため、「連携したい人・組織、活用したい地域資源」は？

2030年に実現したい未来
(金沢ミライシナリオより)

2030年へのアクション

連携したい人・組織、
活用したい地域資源
(アクションを加速させる要因)

私（たち）の得意、
組織・地域の強み
(アクションを育てる)

思い、ネットワーク

もの、商品、施設、場所、
制度、仕組み

私たちが課題、
変えていきたい
と思う現状
(アクションの芽)

第2部

準備・進め方

所要時間：約120分 想定人数：1グループあたり4～6人

用意するもの：筆記用具・共有シート(A3サイズ1枚)・ミライカード(人数分)・ふせん4,5色(38×50mm推奨)

	所要時間(分)	内容	進め方
導入	12分	開会・対話の進め方説明	
	10分	アイスブレイク「第1部対話で気づいたこと」	第1部対話の感想、そこで気づいたことを共有する。
STEP1 実現したい 未来を選ぶ	5分	ミライカードを各自で書き出す	ミライシナリオの中で実現したいことをカードに書き出す。
	15分	「2030年に実現したい未来」を1つ決める	それぞれの書いたカードを共有し、共通項や違いを確認する。 今日アクションを考えてみたいカードを選ぶ
STEP2 未来に向けた アクションを つくる	15分	「課題・変えたいと思う現状」を書き出す	各ステップで、ふせんに書き出して、シートに貼り、 書き出せたらふせんの内容を一言ずつ程度に共有しましょう。
	15分	「私たちの得意・資源」を書き出す	
	15分	「実行したいアクション」を考える	
STEP3 アクションの 実現可能性を 高めるには？	10分	「連携したい人・制度」を書き出す	アクションの実現可能性を高めるには、どうしたらいいか？ という視点から連携先、活用できる資源を考える。
クロージング	10分	シート内容のふりかえり	シートの内容の全体像をふりかえる。 (複数グループで行う場合、テーブルごとに共有してもOK)
	10分	対話のふりかえり	一人ひとりから、ここまでの対話を通して気付いたこと、 考えたことを共有する。

実施方法の詳細ガイド

進行方法や項目の意味を詳しく説明しています。
実施にあたって詳細を知りたい時に、参考にしてください。

① シートに沿った問い

② 対話の内容と流れ

③ 注意ポイントやファシリテーターの問いかけ例

④ ワークの意味

ここでこの問いについて対話をする意味や、どのような参加者の気づきを促すものなのかについて説明しています。

金沢SDGsミライ対話 第1部

想像してみよう！ 2030年 私のウェルビーイング

1. 2030年、身体的にも、精神的にも、社会的にも満たされている“幸せな自分”って？

暮らし方、ライフスタイルは？大切にしていることは？	家族、友人と何をしている？
仕事や社会活動は？やりがいは？	どのようなつながり、ネットワークがある？

2. “2030年の幸せな自分”は、どんな街なら実現できるのだろうか？

「金沢ミライシナリオ」から考えてみよう

- ① 「金沢ミライシナリオ」を読み、自分の未来のためにも、こうなってほしい、これが広がる
といいなと思うこと（文、キーワード、フレーズ）を、書き出してみよう。
- ② ・③ 「こうなってほしい、これが広がったらいいと思うこと」と「今の金沢」では、どのよ
うなギャップがあるか、考えてみよう。（まだない、あるが限られている、今のままでは無理など）

①こうなってほしい、これが広がったらいいな と思うこと	②目指す姿に対して 今の金沢は何点？	③その理由(理想と現実のギャップに なっていること)
	/100	
	/100	
	/100	
	/100	
	/100	

3. 「金沢ミライシナリオ」に描かれた未来やアクションを実現するには？

- ① 「金沢ミライシナリオ」に描かれた未来やアクションを実現するには、
“今のまま”ではなく、何が、どう変わることが大切なのだろう？

- ② 金沢ミライシナリオを実現するため、①で考えた変化を起こすために、金沢の人達や
専門家の方たちと話してみたいこと、一緒に考えたいこと、チャレンジしたいことは？

第2部

対話の詳細ガイド①

○趣旨説明

金沢ミライシナリオを紹介し、第2部では2030年に自分達の強みを活かしたアクションを考えることを伝えます。

○アイスブレイク「第1部対話で考えたこと」

第1部で自分の未来について考えたこと、自分の問題意識、目指したい未来の姿などを話してもらおう。

1. 「ミライシナリオ」を使って「2030年に実現したい未来」を考えよう

第1部で考えた未来や、ミライシナリオで関心ある項目を各自でミライカードに書き出す。

それを持ち寄って、このグループで実現したい「実現したい未来」を考える。まとまったらテーブルの共有シートにペンで書き込む。

- ✓ 未来を1つ選ぶとき、異なるビジョンは無理にまとめず、誰かの思いにのっかり、軸となる具体的な未来を考えましょう。
- ✓ 「できそう」ものよりも「これができたらワクワクする！」という視点からチャレンジしたいものを選びましょう。

◎ワークの意味◎

アクションを起こす時に一番大事なものはゴール！

シートではアクションが育っていく方向を示す「太陽」をイメージとして使っています。

メンバーそれぞれが考えた「ミライシナリオで実現してほしいこと」を持ち寄り、このグループとして実現したいことを選んでみましょう。

金沢SDGsミライ対話 第2部

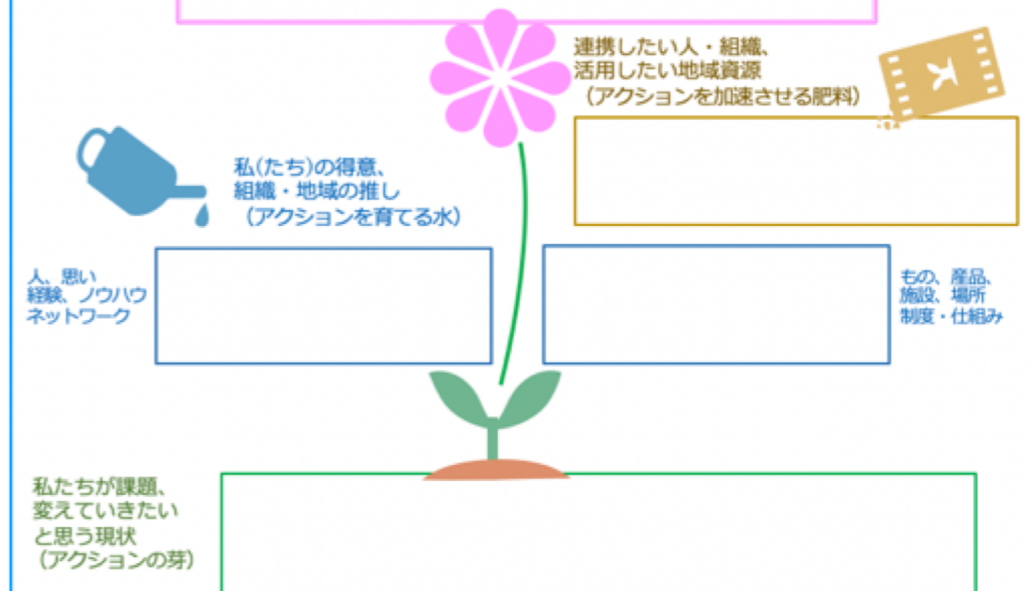
一緒に考えよう！ 2030年に向けて私たちのできること

1. ミライシナリオを使って☀️「2030年に実現したい未来」を考えよう。
2. 「実現したい未来」に対して金沢の現状を考えた時、🌱「課題、変えていきたい」と思うことは何だろうか？
3. 私（もしくは私の地域・組織）の💧「得意、推したいこと」は何だろうか？
4. ☀️「実現したい未来」へ、🌱「課題」×💧「私（たち）の強み」から、私（たち）がチャレンジしたい🌸「2030年へのアクション」は？
5. アクションを加速させるため、🎫「連携したい人・組織、活用したい地域資源」は？

2030年に実現したい未来
(金沢ミライシナリオより)



2030年へ！ 私たちのSDGsアクション



第2部

対話の詳細ガイド②

2. 「実現したい未来」に対して金沢の現状を考えた時、「課題・変えていきたい」と思うことはなんだろう

目指したい未来に対して、現状どんな状態なのか・どのような課題があるか考えます。

ふせんに書きだし、緑の枠内に貼っていきましょう。

- ☑ 現状がよくわからないものは、情報を調べたり、詳しい人に話を聞きましょう。（時間内に難しい時は、対話後にその時間をとりましょう）

◎ワークの意味◎

目指す姿へ成長するアクションの「芽」として現状の地域の状況を考えます。メンバーそれぞれの人の視点から「こんなところも問題かも。変えられると良いかも」という意見が集まることで、現状について多面的に理解することを促します。

3. 私(もしくは、私の地域・組織)の「得意、推したいこと」はなんだろう？

自分達の組織や地域の強みは何か、改めて考えます。「人、思い、経験、ノウハウ、ネットワーク」など人に関わること、「もの、産品、施設、場所、制度・仕組み」などの組織の持つものの2つの面から考えて、ふせんに書き出し、青の枠内に貼っていきましょう。

- ☑ 今の時点では、アクションに直結するかわからないことでも、ここがいいところ！と思うことをあげましょう！

◎ワークの意味◎

アクションの芽を育てるためにどんな「水」があげられるか考えます。自分達にとっては普通にできることは「誰でもできそう」と思ってしまいがちですが、自分達のできることを自覚することで、アクションでできることも見えてきます。

金沢SDGsミライ対話 第2部

一緒に考えよう！ 2030年に向けて私たちのできること

1. ミライシナリオを使って☀️「2030年に実現したい未来」を考えよう。
2. 「実現したい未来」に対して金沢の現状を考えた時、🌱「課題、変えていきたい」と思うことは何だろう？
3. 私(もしくは私の地域・組織)の💧「得意、推したいこと」は何だろう？
4. ☀️「実現したい未来」へ、🌱「課題」×💧「私(たち)の強み」から、私(たち)がチャレンジしたい🌸「2030年へのアクション」は？
5. アクションを加速させるため、🎫「連携したい人・組織、活用したい地域資源」は？

2030年に実現したい未来
(金沢ミライシナリオより)



2030年へ！私たちのSDGsアクション

連携したい人・組織、
活用したい地域資源
(アクションを加速させる肥料)



人、思い、経験、ノウハウ、ネットワーク

もの、産品、施設、場所、制度・仕組み

私たちが課題、
変えていきたい
と思う現状
(アクションの芽)

第2部

対話の詳細ガイド③

4. 「実現したい未来」へ「課題」×「私(たち)の強み」から 私たちがチャレンジしたい「2030年へのアクション」は？

ここまでの内容をふりかえり、現状から実現したい未来に変えていくために、自分達の強みを活かして、取り組んでみたいと思えるアクションを考えてみましょう！

アクションの名称をふせんにかき出し、シートに貼りましょう。
最後に一つの名前にまとめ、アクションの完成です。

- ☑️アクション内容は、あまり実現可能性に縛られずに、これが実現したらいいね！と思えるものにします。
(実現可能性は、次のワークで考えます)

◎ワークの意味◎

アクションの芽が太陽に向かって育つと、どんなアクションの「花」が咲くだろう？と楽しみながら考えてもらうことが大切です。

「しなければいけない」アクションではなく、自分達自身の強みを活かし、できることが地域に役立つというワクワク感を大切に、アクションを考えましょう。
さらに、アクション名を付けることでアクションに対して愛着がわいてきます。
素敵な名前をつけましょう！

金沢SDGsミライ対話 第2部

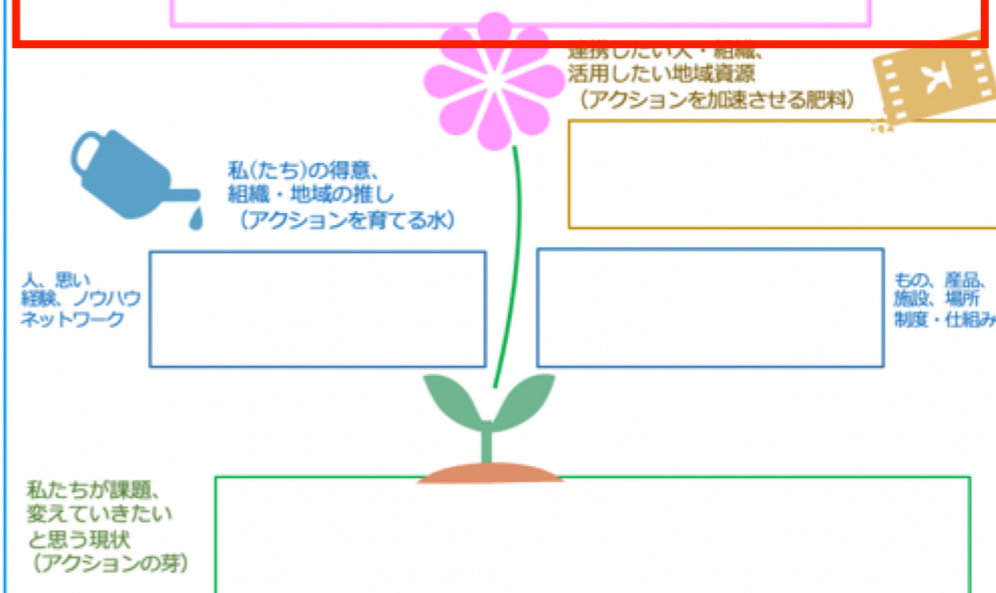
一緒に考えよう！ 2030年に向けて私たちのできること

1. ミライシナリオを使って☀️「2030年に実現したい未来」を考えよう。
2. 「実現したい未来」に対して金沢の現状を考えた時、🌱「課題、変えていきたい」と思うことは何だろうか？
3. 私（もしくは私の地域・組織）の💧「得意、推したいこと」は何だろうか？
4. ☀️「実現したい未来」へ、🌱「課題」×💧「私（たち）の強み」から、私（たち）がチャレンジしたい🌸「2030年へのアクション」は？
5. アクションを加速させるため、🎫「連携したい人・組織、活用したい地域資源」は？

2030年に実現したい未来
(金沢ミライシナリオより)



2030年へ！私たちのSDGsアクション



実施方法の詳細ガイド

進行方法や項目の意味を詳しく説明しています。
実施にあたって詳細を知りたい時に、参考にしてください。

① シートに沿った問い

② 対話の内容と流れ

③ 注意ポイントやファシリテーターの問いかけ例

④ ワークの意味

ここでこの問いについて対話をする意味や、どのような参加者の気づきを促すものなのかについて説明しています。

金沢SDGsミライ対話 第1部

想像してみよう！ 2030年 私のウェルビーイング

1. 2030年、身体的にも、精神的にも、社会的にも満たされている“幸せな自分”って？

暮らし方、ライフスタイルは？大切にしていることは？	家族、友人と何をしている？
仕事や社会活動は？やりがいは？	どのようなつながり、ネットワークがある？

2. “2030年の幸せな自分”は、どんな街なら実現できるのだろう？

「金沢ミライシナリオ」から考えてみよう

- ① 「金沢ミライシナリオ」を読み、自分の未来のためにも、こうなってほしい、これが広がる
といいなと思うこと（文、キーワード、フレーズ）を、書き出してみよう。
- ② ・③ 「こうなってほしい、これが広がったらいいと思うこと」と「今の金沢」では、どのよ
うなギャップがあるか、考えてみよう。（まだない、あるが限られている、今のままでは無理など）

①こうなってほしい、これが広がったらいいな と思うこと	②目指す姿に対して 今の金沢は何点？	③その理由(理想と現実のギャップに なっていること)
	/100	
	/100	
	/100	
	/100	
	/100	

3. 「金沢ミライシナリオ」に描かれた未来やアクションを実現するには？

- ① 「金沢ミライシナリオ」に描かれた未来やアクションを実現するには、
“今のまま”ではなく、何が、どう変わることが大切なのだろう？

--

- ② 金沢ミライシナリオを実現するため、①で考えた変化を起こすために、金沢の人達や
専門家の方たちと話してみたいこと、一緒に考えたいこと、チャレンジしたいことは？

--

アクションをSDGsゴールから見直す SDGsシートを活用しよう

金沢SDGsミライ対話を進めていく際に、
第2回と第3回のために、自分達のアクションをSDGsのゴールと紐づけて考えるために
「SDGsシート」を用意しています。

このシートを書くことで自分のアクションとSDGsの結びつきを具体的にイメージできると共に、
アクションの持つ多面的な価値・意味に気付くことができます。

アクションの多面性に気付いた上で第3回の対話に参加することで、
テーマが違うアクションでも、共通のSDGsの項目から
共通項や・協働できそうなポイントを見つけやすくなります。
(例：プログラミングも農業も教育に関われるなど)

SDGs から新しい意味を見つけよう！

概要			ゴールの視点からの可能性
組織・地域			
	ゴールの視点からの可能性		
1 貧困をなくそう		9 産業・イノベーションを促進せよ	
2 健全な食生活と栄養を確保せよ		10 人や国々の間での格差をなくせよ	
3 健康と長寿な生活を確保せよ		11 持続可能な都市とコミュニティを築けよ	
4 質の高い教育をみんなに		12 持続可能な消費と生産を実現せよ	
5 ジェンダー平等を実現せよ		13 気候変動に具体的な対策を	
6 安全な水とトイレを世界中に		14 海の豊かさを守ろう	
7 持続可能なエネルギーを		15 陸の豊かさも守ろう	
8 働きがいも経済成長も		16 平和と公正な社会を築こう	
		17 パートナーシップで目標を達成しよう	